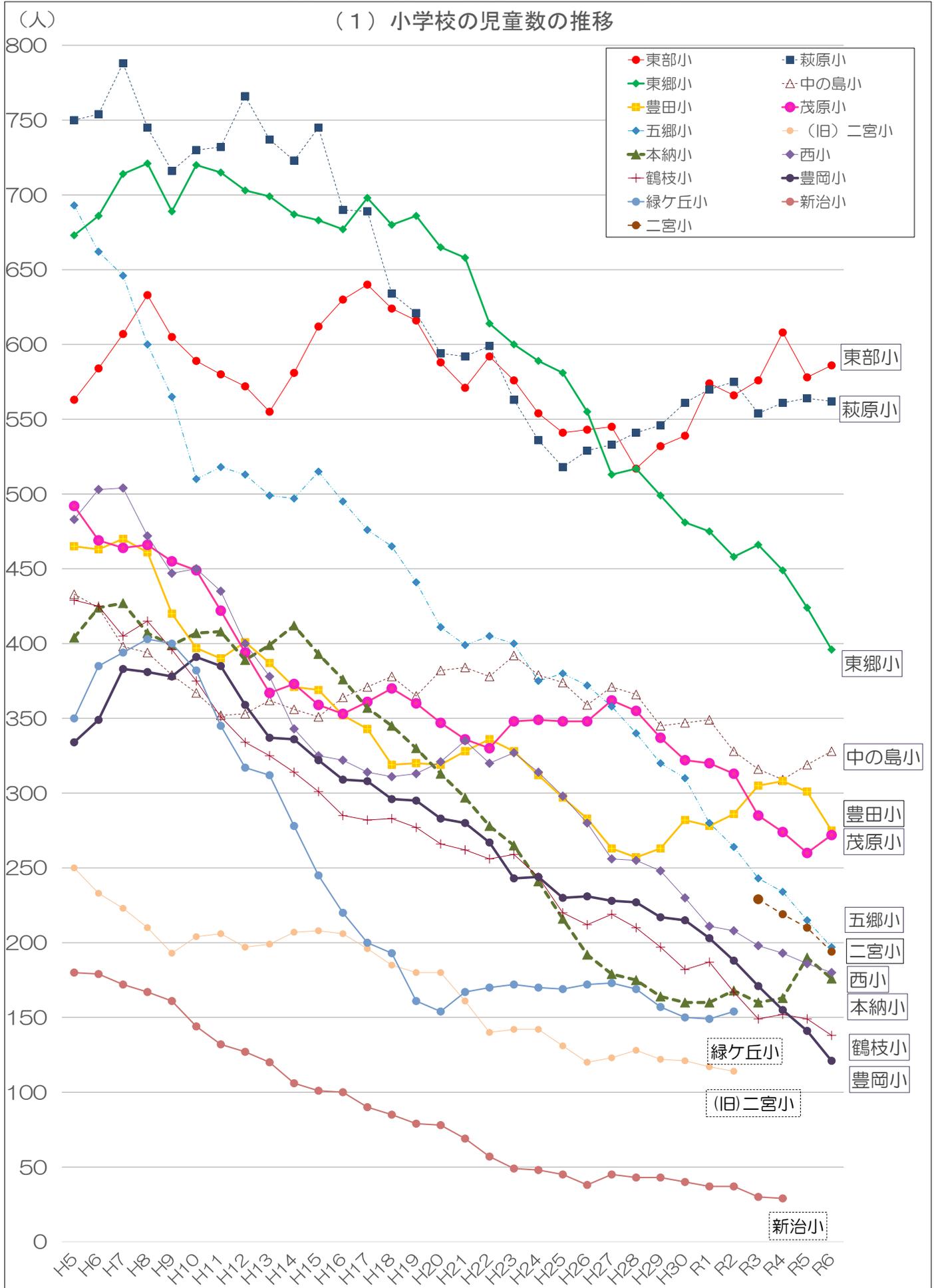
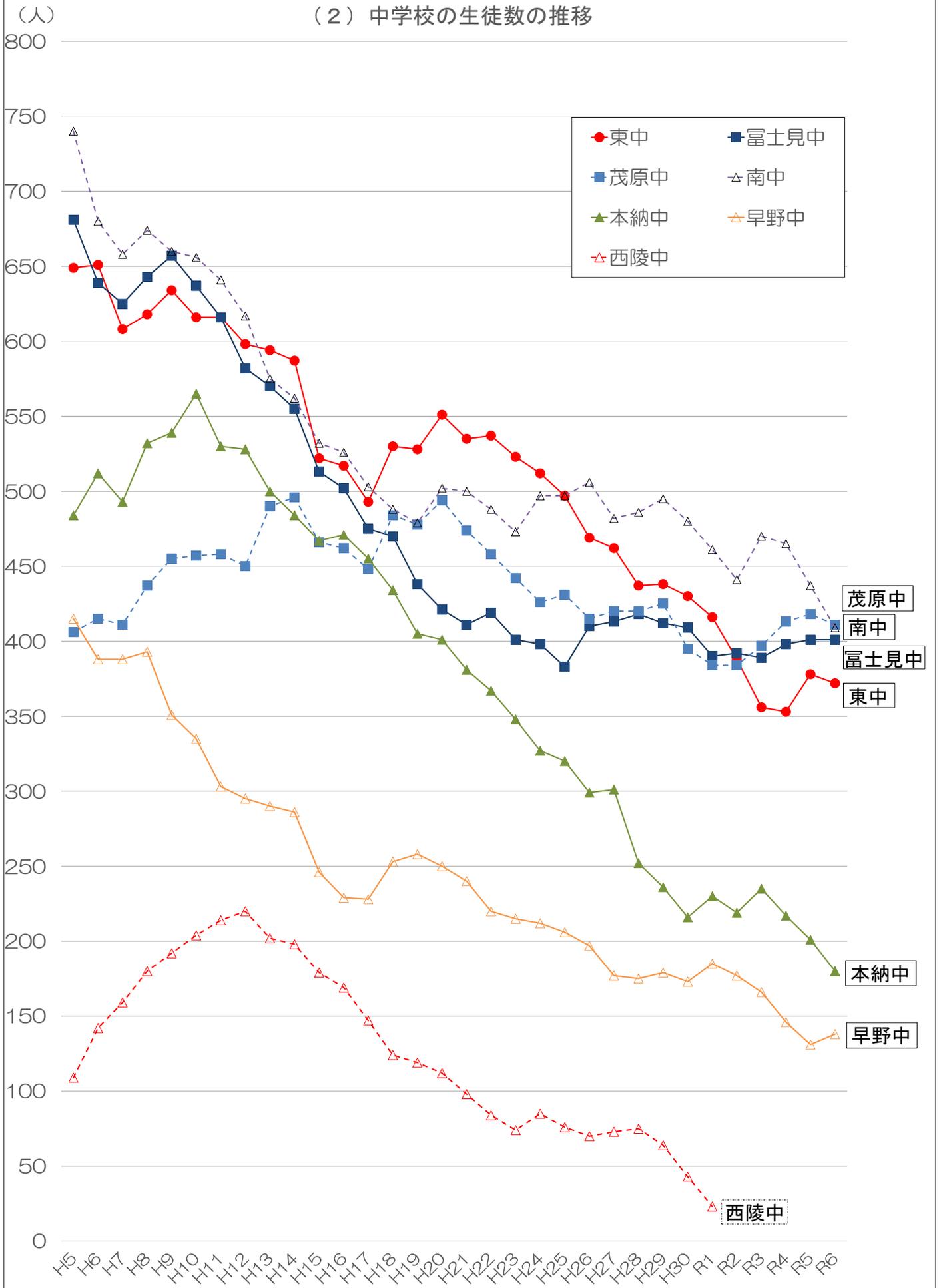


現状の把握について  
1. 学校ごとの児童生徒数のこれまでの推移

(1) 小学校の児童数の推移

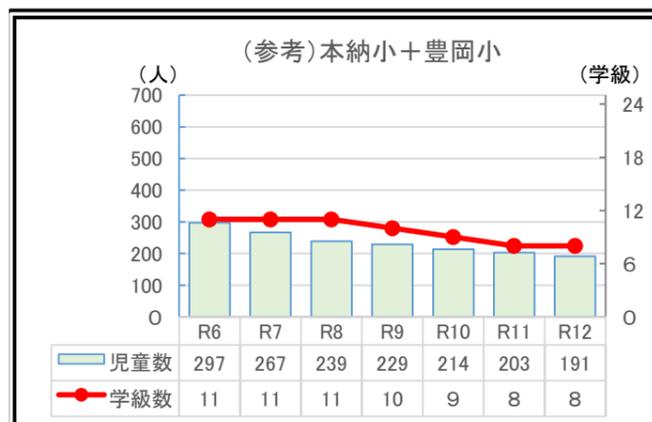
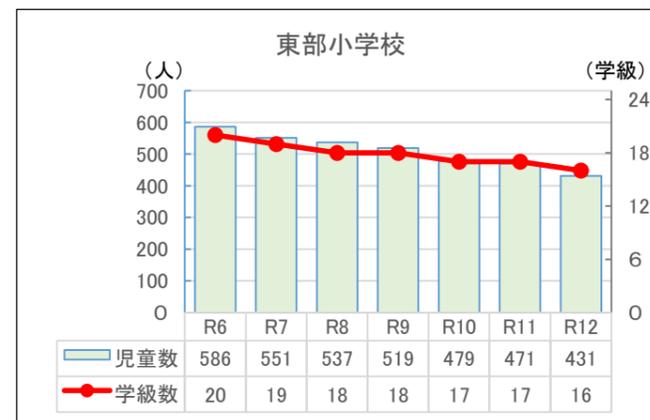
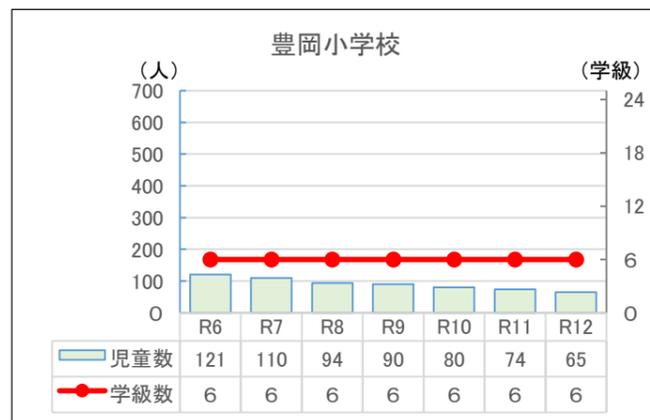
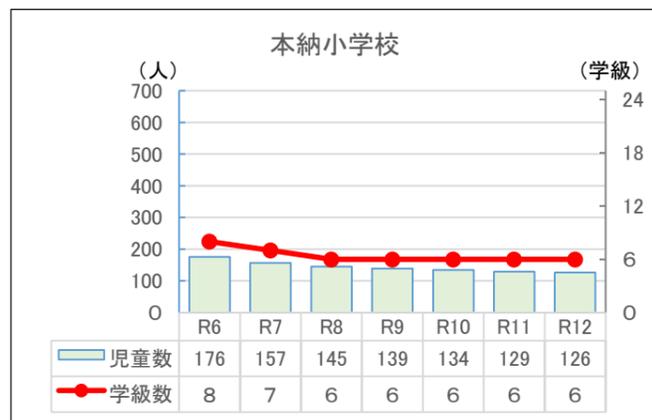
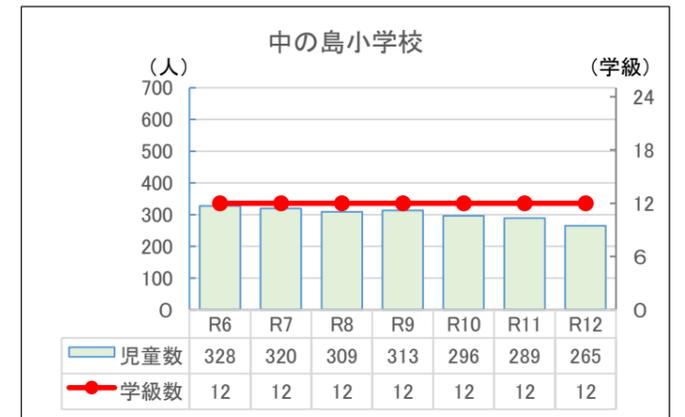
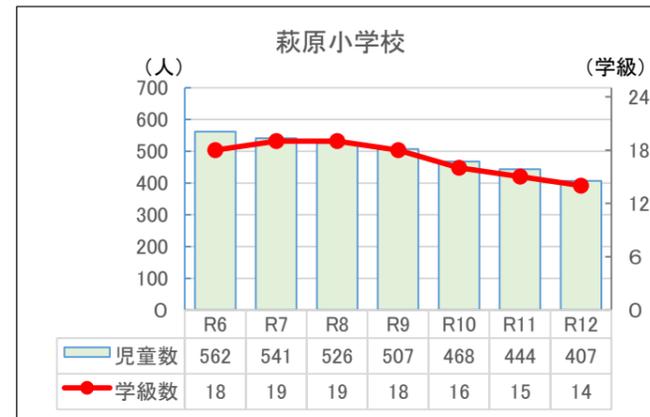
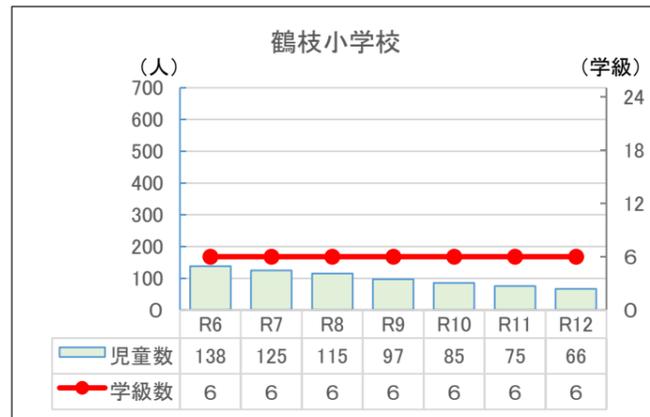
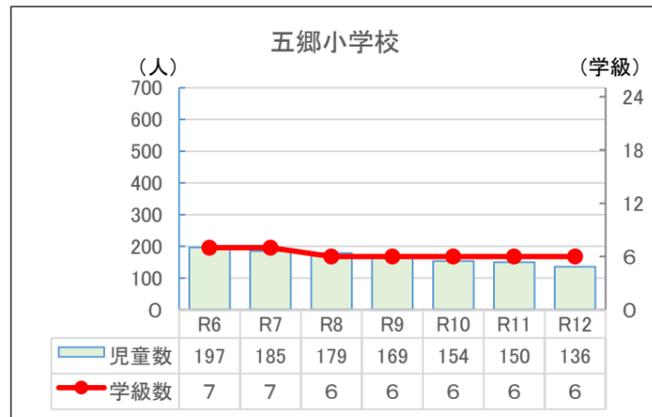
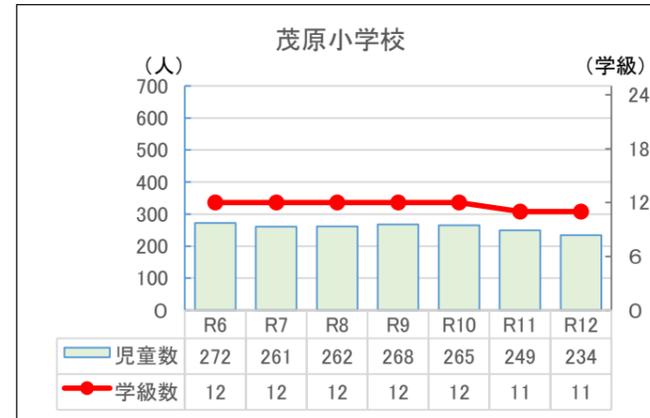
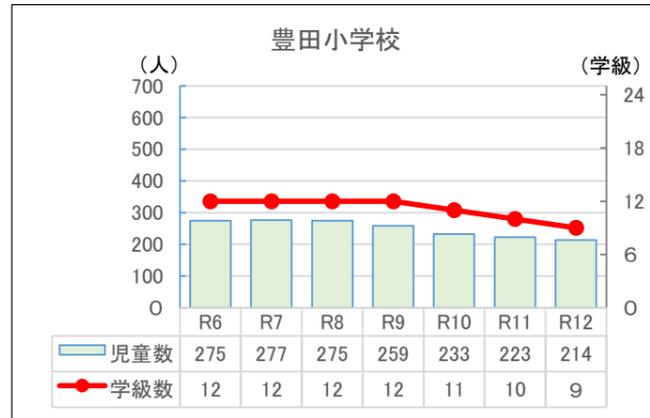
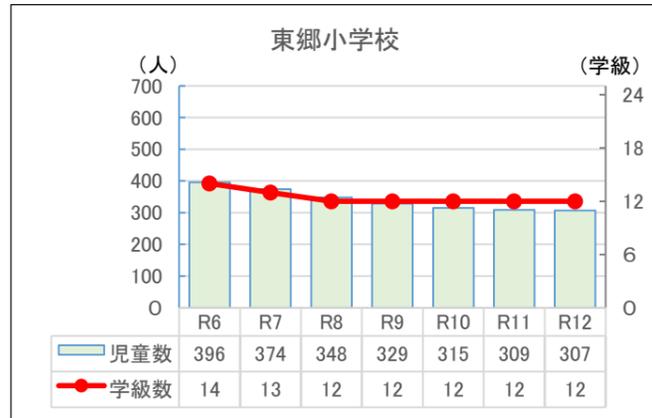


(2) 中学校の生徒数の推移



2. 【R6. 4. 1 住民基本台帳による推計】学校ごとの児童生徒数及び学級数の推計 ※縦棒は児童数（左軸）、折れ線は普通学級の学級数（右軸）

(1) 小学校

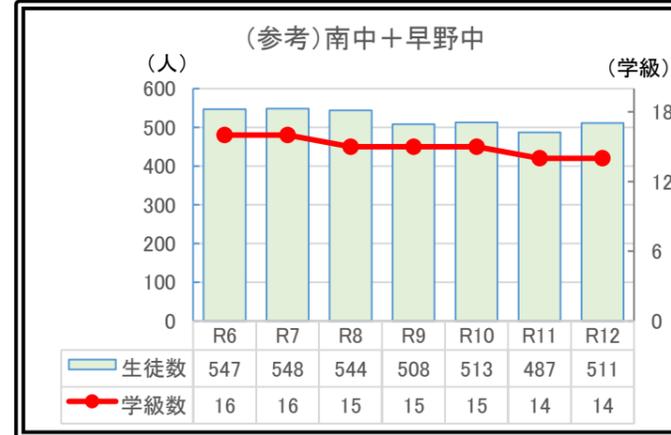
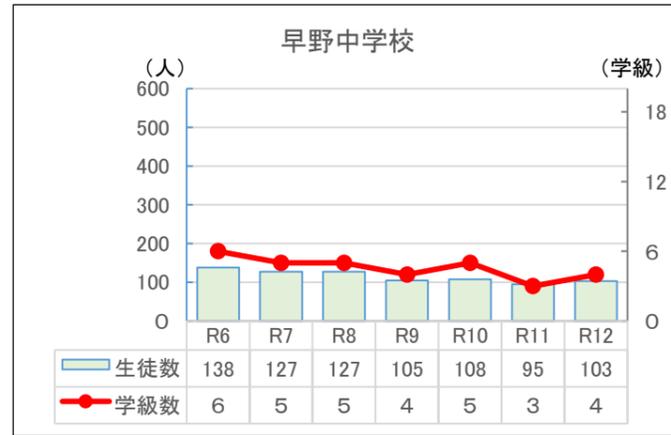
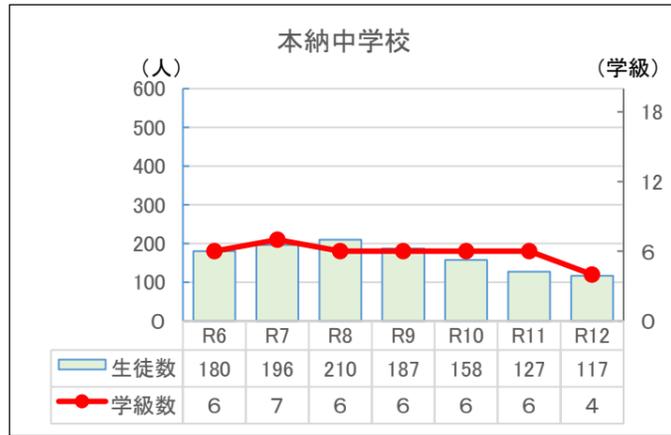
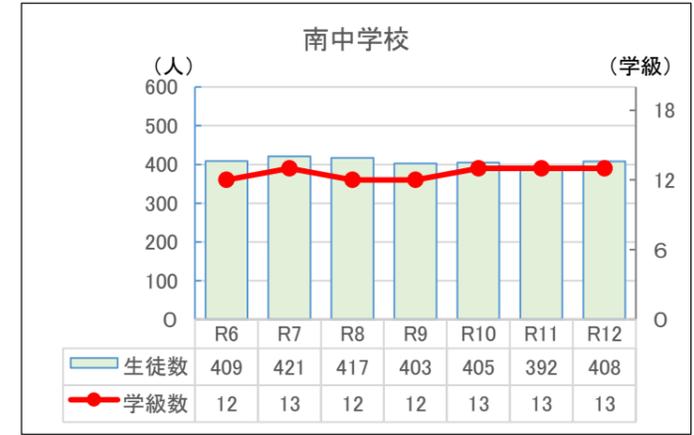
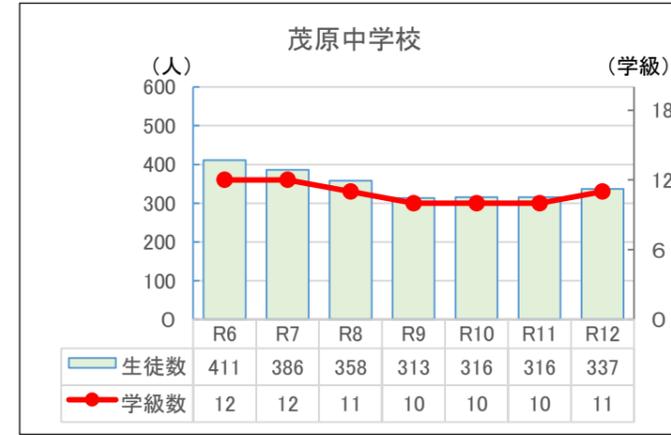
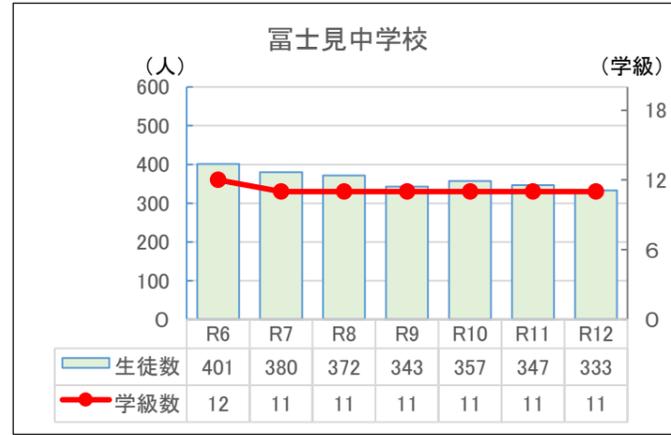


【推計方法について】  
 ・全体の児童数については、R6. 5. 1時点の実児童数及びR6. 4. 1時点の住民基本台帳により算出。  
 ・学級数については、学級編制の標準の引下げ(\*1)に伴い、小学校は全学年で1学級35人で計算。

\*1 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部が改正（R3. 4. 1 施行）。R3年度から段階的に適用しR7年度で全学年が1学級35人。

※縦棒は生徒数（左軸）、折れ線は普通学級の学級数（右軸）

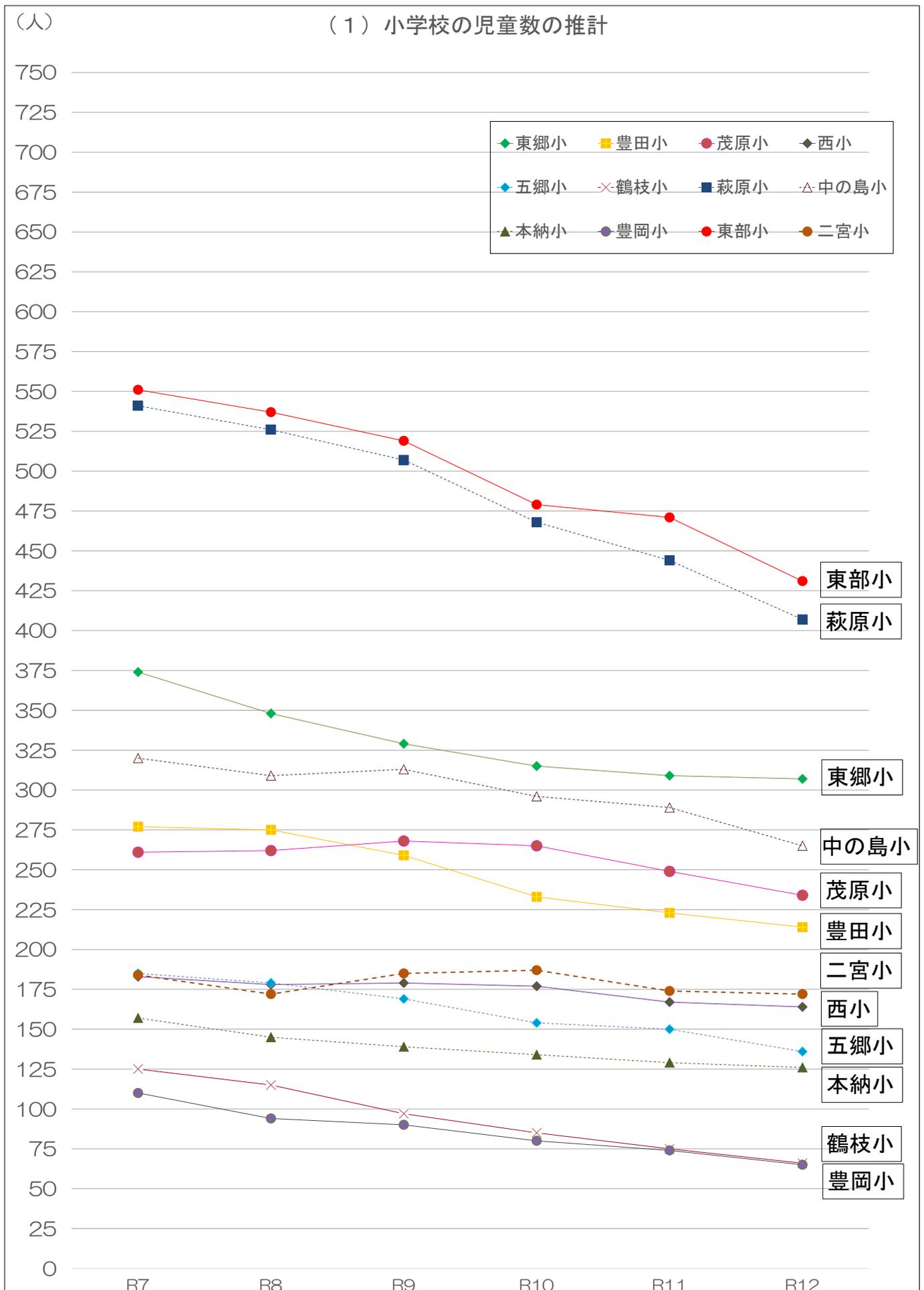
(2) 中学校



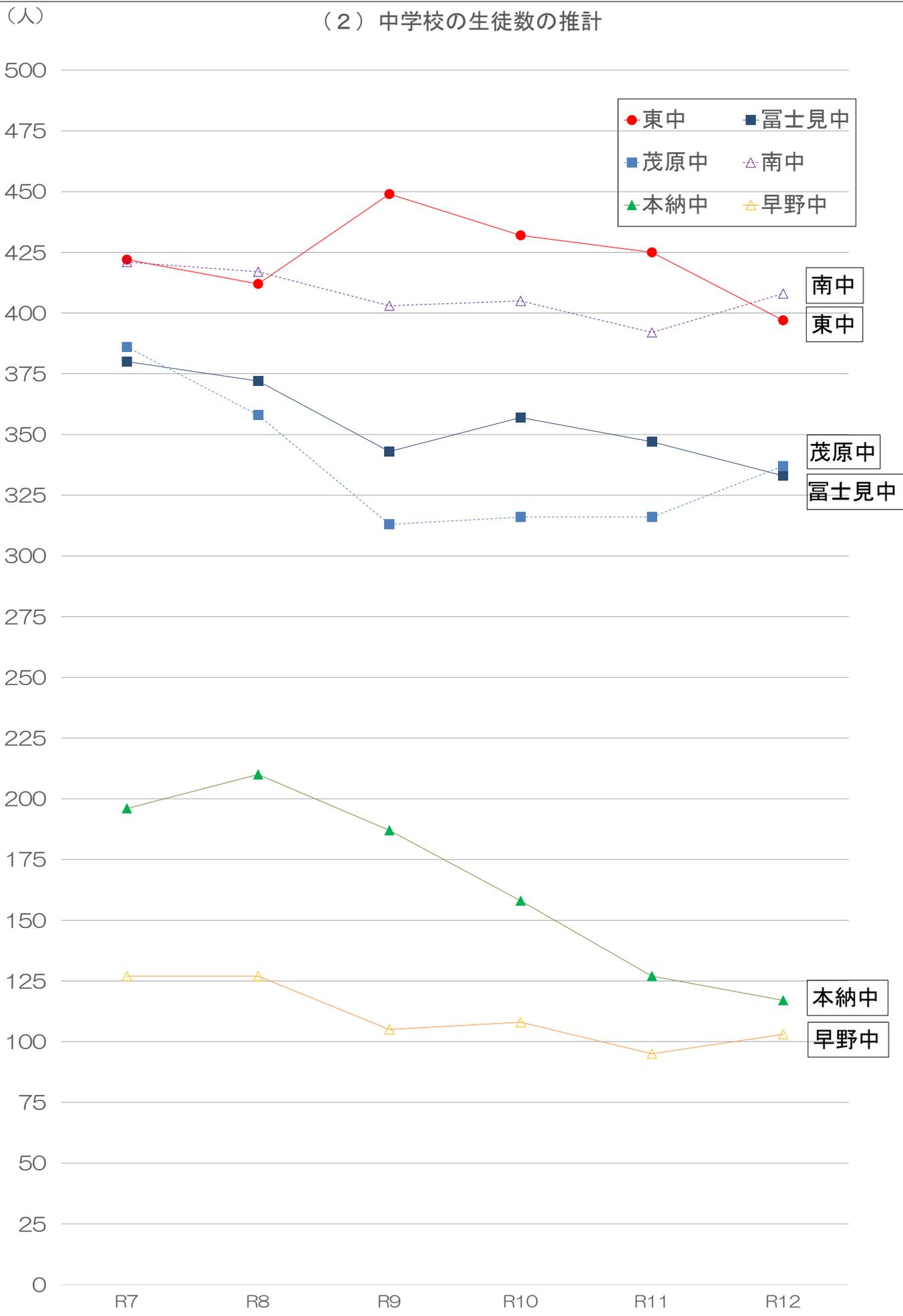
【推計方法について】

- 全体の生徒数については、R6.5.1時点の実生徒数及びR6.4.1時点の住民基本台帳により算出。
- 学級数については、中学校は1年生が1学級35人、2・3年生が1学年38人で計算。

3. 【令和6年4月1日住民基本台帳による推計】学校ごとの児童生徒数の推計（全体での比較）



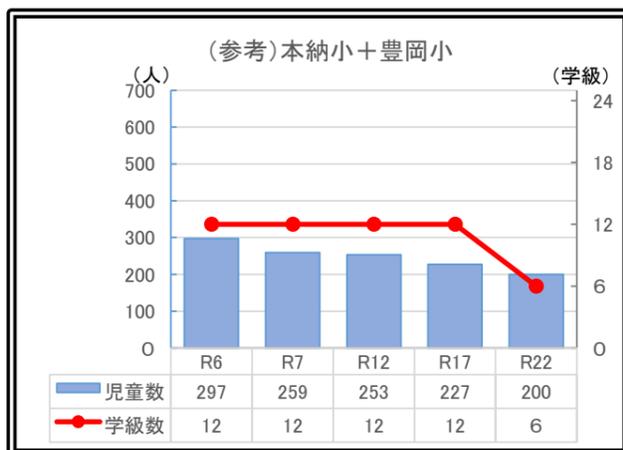
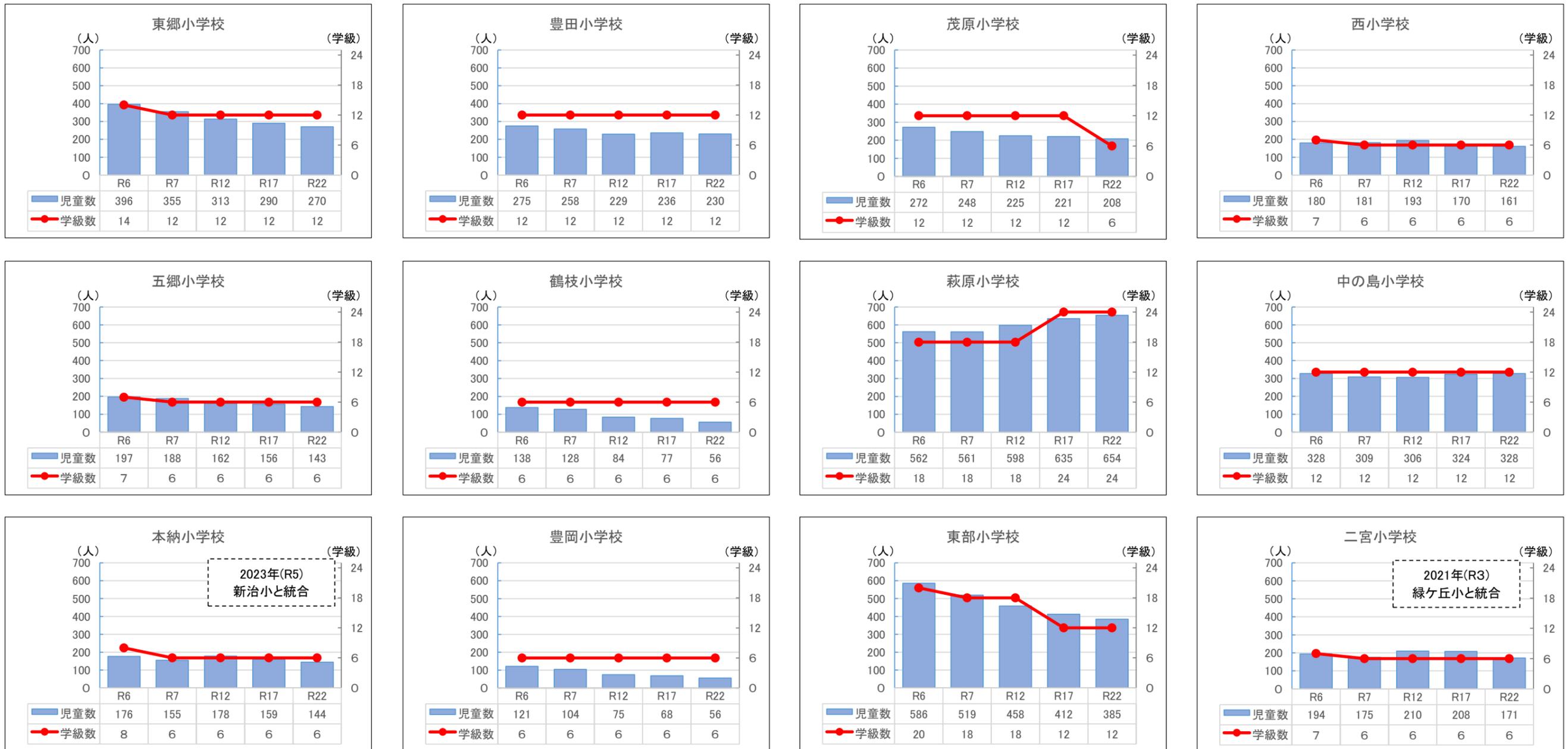
(2) 中学校の生徒数の推計



4. 【コーホート変化率法による推計】学校ごとの児童生徒数及び学級数の推計 ※縦棒は児童数（左軸）、折れ線は普通学級の学級数（右軸）

(注) 令和3年3月の茂原市人口ビジョンの基礎数値による計算のため、あくまでも参考として示すものです。

(1) 小学校



【推計方法について】

- ・全体の児童数については、「茂原市人口ビジョン」（令和3年3月改訂）の基礎数値をベースに算出。
- ・学校ごとの児童数については、令和6年4月1日現在の住民基本台帳をベースにコーホート変化率法(\*1)により計算。
- ・変化率については、R1～R6までの5年間の変化率を用いている。
- ・学級数については、学級編制の標準の引下げ(\*2)に伴い、小学校は全学年で1学級35人で計算。

\*1 コーホート変化率法とは、各コーホート（同じ期間に生まれた集団）について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

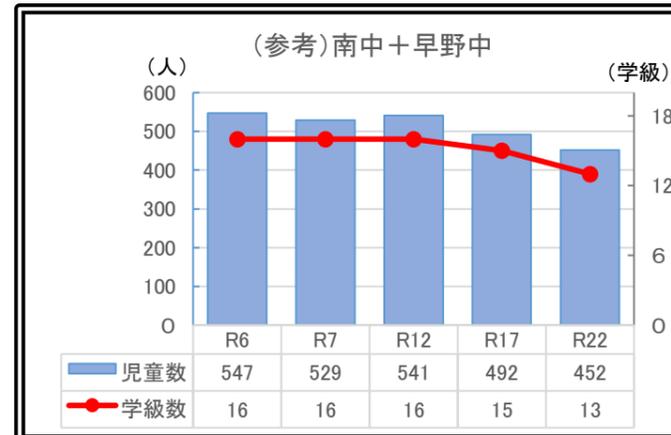
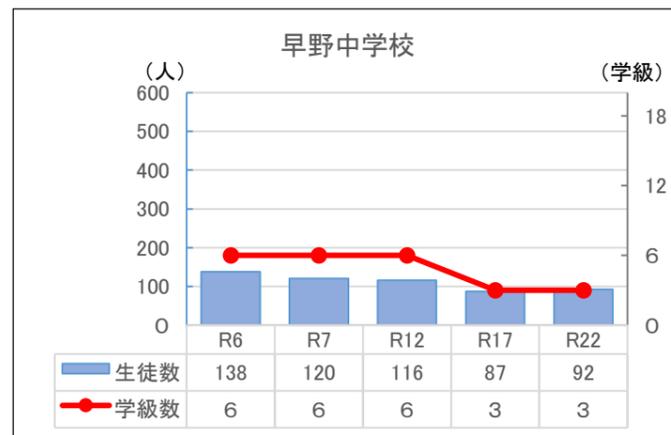
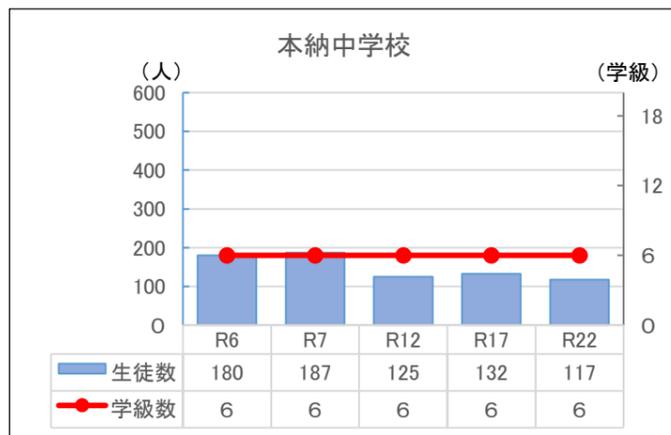
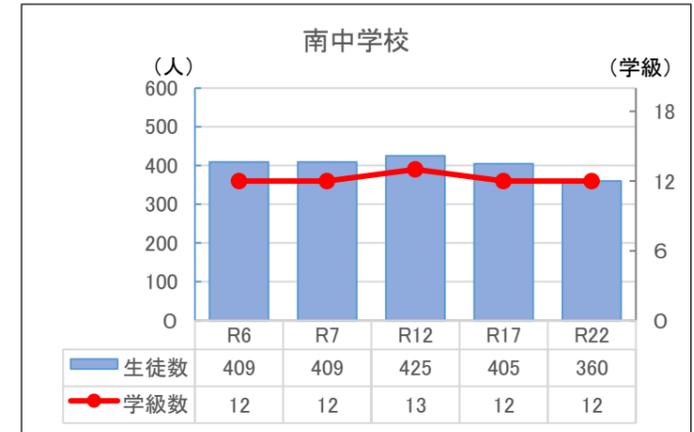
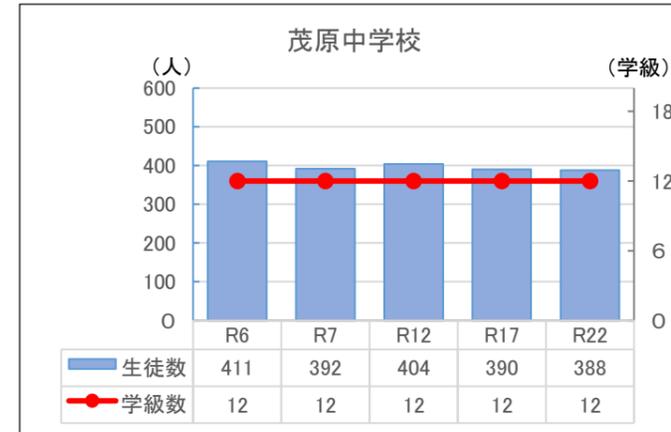
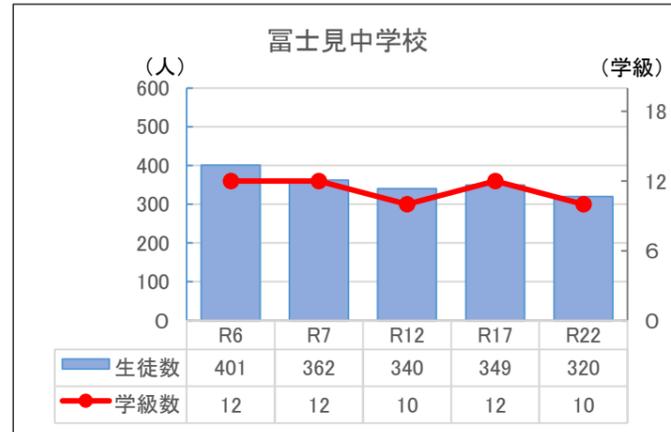
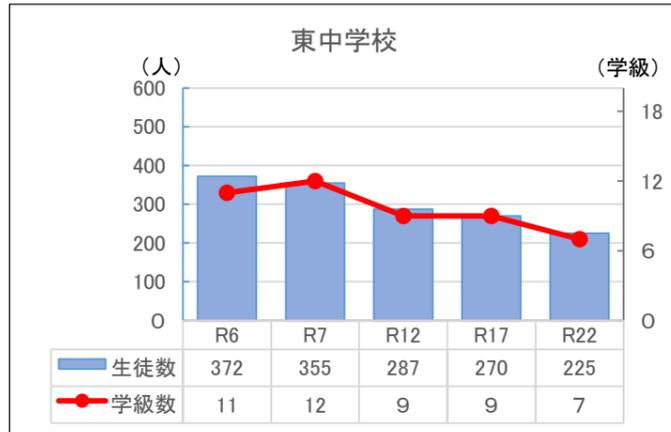
\*2 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部が改正（R3.4.1施行）。R3年度から段階的に適用しR7年度で小学校は全学年が1学級35人。

【参考】学級数の算定式について ※()の端数切り上げ  
 <小学校> 学級数 = (児童数 ÷ 6学年 ÷ 35人) × 6学級 ※40人以下の場合は3学級[全て複式学級]、48人以下の場合は4学級[2学級が複式学級]。  
 <学級数の表示> 小学校：「6」…5～6学級、「12」…7～12学級、「18」…13～18学級、「24」…19～24学級

※縦棒は生徒数（左軸）、折れ線は普通学級の学級数（右軸）

(注) 令和3年3月の茂原市人口ビジョンの基礎数値による計算のため、あくまでも参考として示すものです。

(2) 中学校



【推計方法について】

- 全体の生徒数については、「茂原市人口ビジョン」（令和3年3月改訂）の基礎数値をベースに算出。
- 学校ごとの生徒数については、令和6年4月1日現在の住民基本台帳をベースにコーホート変化率法(\*1)により計算。変化率については、R1～R6までの5年間の変化率を用いている。
- 学級数については、中学校は1年生が1学級35人、2・3年生が1学年38人で計算。

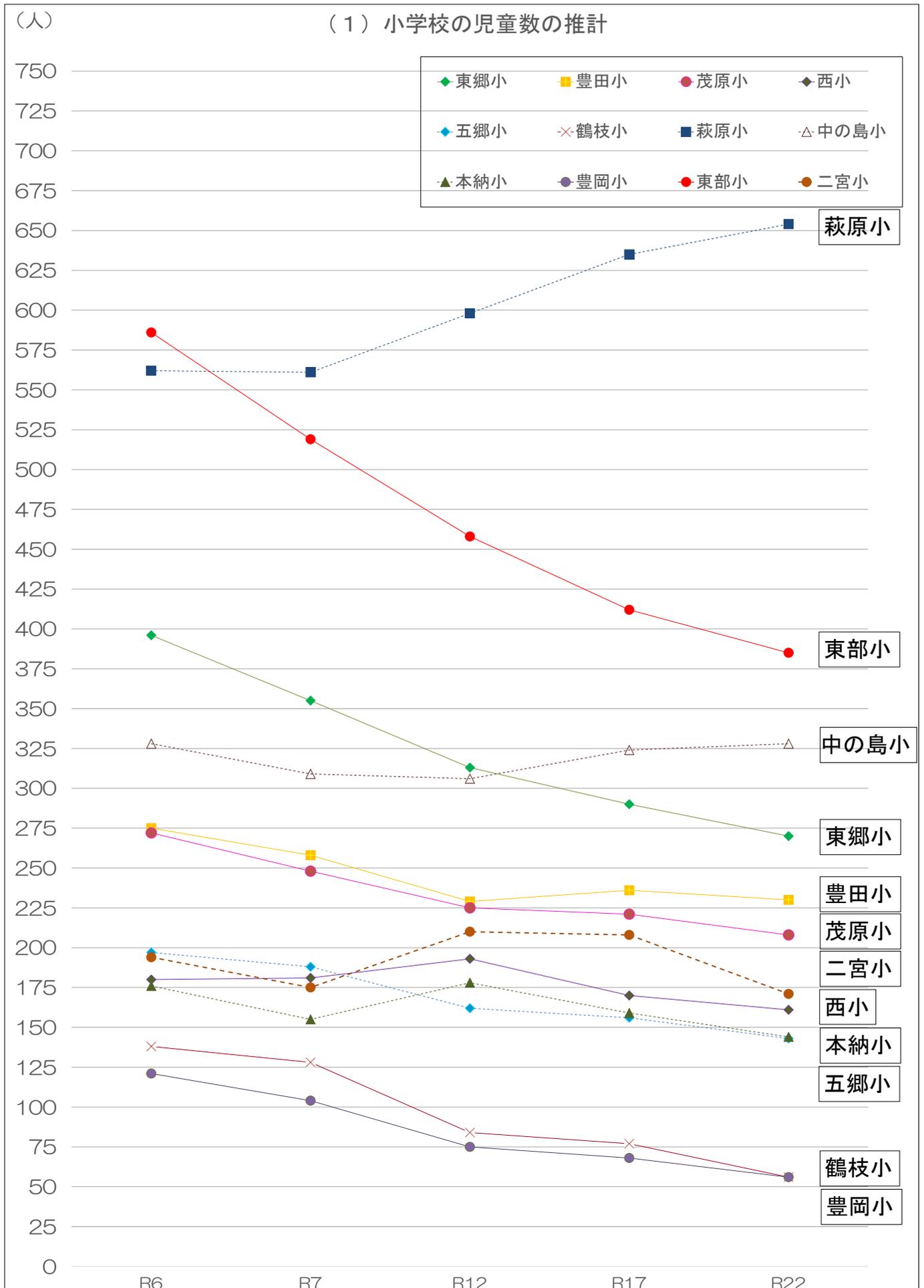
\*1 コーホート変化率法とは、各コーホート（同じ期間に生まれた集団）について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

[参考] 学級数の算定式について ※()の端数切り上げ

《中学校》 学級数 = (生徒数 ÷ 3学年 ÷ 35人) × 1学級 + (生徒数 ÷ 3学年 ÷ 38人) × 2学級

<学級数の表示> 中学校：「6」…5～6学級、「9」…8～9学級、「12」…11～12学級、「15」…14～15学級、「18」…17～18学級 他は表示のとおり。

5. 【コーホート変化率法による推計】 学校ごとの児童生徒数の推計（全体での比較）



(2) 中学校の生徒数の推計

